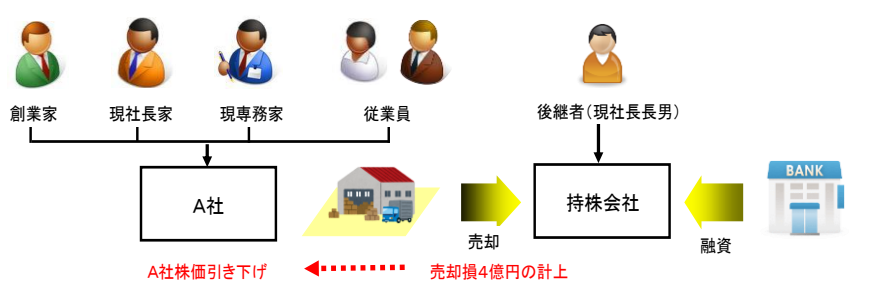
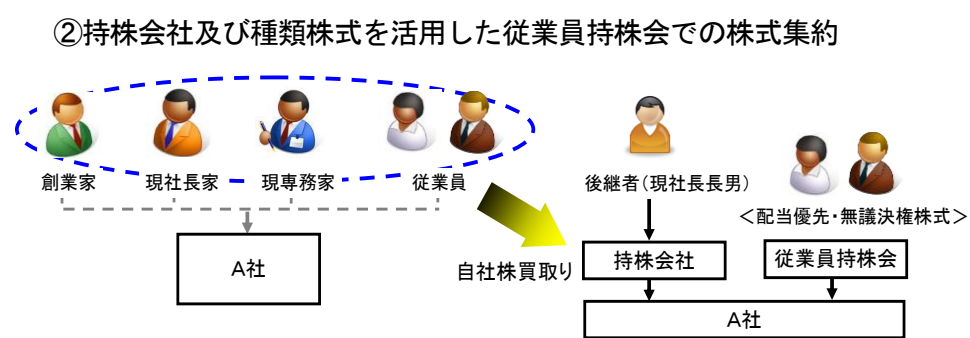


銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	「NCB九州活性化ファンド」の組成
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年6月に公表された『日本再興戦略』改訂2014 - 未来への挑戦 - のアクションプランに基づき、九州経済の活性化に資する地場企業を対象に、事業基盤の改善・強化から成長・拡大および事業承継までを一貫して支援することを目的に、株式会社地域経済活性化支援機構（以下、REVIC）株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）及び株式会社ドーガン（以下、DGN）と共同で「NCB九州活性化ファンド」（以下、本ファンド）を組成し、本ファンドの運営を担うNCBキャピタル株式会社（以下、当社）を設立した。 <p>【取組み内容、期待できる効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本ファンドのファンド総額は50億円、存続期間は7年間。 地域金融機関として九州地域に強固な顧客基盤を有する当行を中心として、先進的なファイナンス実績を有するDBJ、専門家派遣機能等の経営支援能力を有するREVICおよび九州地域において様々なソリューション提供を行ってきたDGNが協働して当社の運営に携わり、より高度かつ効果的なソリューションを提供し、地場企業の成長に向けた取組み等を幅広く支援することで、九州経済の活性化に幅広い貢献ができる。


銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	地方創生への取組み
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けて、地方自治体では「地方版総合戦略」の策定及びその推進が求められている。そのサポートも含めて、今後、積極的に地方創生に取り組む観点から、今般「地方創生プロジェクトチーム(事務局：地域振興部)」を設置し、その態勢を強化した。 ・ 当行が持つ「広域ネットワーク」と「中央やアジアとの強力なパイプ」を活かし、地方創生に資する情報等は当該プロジェクトチームで一元的に集約され、各地区本部と営業店を通じて地元福岡・九州の各自治体にフィードバックする態勢とした。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お客さまに地方創生にかかる補助事業等をわかりやすくお伝えする観点から、平成 27 年 3 月 20 日、「地方創生ガイドブック」を発刊した。 ・ 空き家問題解決に向けた取組みの一環として、平成 27 年 5 月 27 日、空き家の解体費用に対応するローン商品「NCB 空き家解体ローン」の取扱いを開始した。 ・ 地方創生への取組みを更に強化するために、平成 27 年 6 月 11 日、地元企業の雇用増加や新規事業展開等を支援する融資商品「NCB 地域創生応援ローン」を創設した。 ・ 福津市（本店所在地の近隣の市）と連携し地方創生にかかる新たな戦略を策定・推進するため、平成 27 年 6 月 15 日、同市と「地方創生に関する包括協定」を締結した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="523 1377 721 1675" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="805 1377 1008 1664" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1077 1377 1273 1646" data-label="Image"> </div> </div> <div data-bbox="750 1697 1093 1953" data-label="Image"> </div>

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	グループ会社を活用した海外進出支援
取組み内容	<p>【当該取組みに至った経緯、解決を図る必要があった状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社（金属製品製造業）は、将来のビジネス構想としてベトナムへの事業展開（販路拡大、現地工場の設立）を検討していた。 ・ 支店担当者は役立つ情報を同社へ提供できればと考え、当行グループ会社であるNCBリサーチ&コンサルティング/国際コンサル室（以下、R&C）を紹介。R&Cが開催する「アジアビジネスセミナー～建設業・製造業における外国人の活用方法～」への出席を案内するなど、海外進出に関する情報の提供に努めた。 <p>【当該取組みの具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同社の課題である人材不足を解消するため、また将来ベトナム工場を設立した際の工場運営に備えるために、R&CはR&Cのサポート企業でベトナム人技能実習生の雇用促進を行うB社を紹介。結果として、A社は2015年6月より計9名のベトナム人を受け入れる契約をB社と交わした。 ・ R&Cは、さらに継続してコンサルティングを行った結果、A社には海外企業との契約・知的財産保護や、市場調査・海外視察・現法設立の際のサポートについてもニーズがあることを把握。そこで、R&Cのサポート企業であり、それぞれの分野の専門知識を持ったコンサルティング会社C社、D社を紹介し、契約に至った。 <p>【当該取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行及びR&Cの緊密な連携により、A社の海外ビジネスに関する課題解決に迅速に対応できた。 ・ A社は、専門家のサポートを得て、より精力的に事業に取り組んでおり、今後の海外ビジネス展開について着実に前進している。 ・ 今後A社が飛躍することで、当行グループはA社との更なる取引深耕が期待できる。

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	中小企業再生支援協議会を活用したスポンサースキームによるお取引先の事業再生支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業を営んでいたA社は、本業外の事業や不動産へ投資を行ったが、企図した収益が得られなかった結果、過剰債務・大幅債務超過となり、自主再建が困難な状況に陥っていた。 ・ 一方、A社の商品開発力や業界知名度は高かったことから、地場大手企業B社が支援を表明し、メインである当行へ抜本的な再生計画の策定に関する相談があった。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は、計画の透明性・衡平性・蓋然性を確保して他の金融債権者の同意のもと金融支援を行うため、中小企業再生支援協議会を活用した抜本的な再建スキームを検討することとした。 ・ 具体的には、同協議会関与の下で、第二会社方式による金融支援（特別清算を活用した実質的な債権放棄）スポンサースキーム、再生ファンドによる債権買取等を骨子とする事業再生計画を策定。全行同意を得て成立し、施策の実行・手続きを進めた。 <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取引金融機関による実質的な債権放棄を受け、債務超過の解消・既存債務の返済軽減が行われたこと、地場業界大手企業B社のスポンサー就任により企業信用力の向上、営業体制・ガバナンスの強化が図られたことから、今後、B社グループの一社として安定した事業継続が見込まれる。 ・ A社代表者の経営者保証に関しては、「経営者保証に関するガイドライン」に沿った債務整理を行った。 <div data-bbox="558 1478 1324 1926" data-label="Diagram"> </div> <p>計画に同意のうえ、債権の継続保有を希望しない金融機関については、再生ファンドで債権買取を実施。</p>

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	後継者への分散株式の集約スキームを活用した自社株対策支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社は福岡市内で卸売業を営む。年商26億円、純資産11億円。 ・ 同社は事業拡張の都度、親族を中心に増資を行ない、結果、創業家、現社長（創業家の義弟）家、現専務（創業家の義弟）家の3グループをはじめ他従業員へと株主が分散していた。 ・ 株価の試算をもとにヒアリングを進めていく中で、同社の保有する不動産の中に多額の含み損があることが判明し、持株会社を活用した不動産のグループ間取引（含み損出し）による株価引下げと、後継者である現社長長男への自社株の集約提案を行った。 <p>【取組み内容・お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自社株集約に当たっては、株式買取資金負担の軽減と他従業員の資産形成、モチベーション向上の観点から、持株の一部を「従業員」へ持たせたいとの社長の意向があったため、以下のスキームを提案した。 <p><提案スキーム></p> <p>① 同社所有の倉庫（含み損約4億円）を後継者が出資する新設会社へ売却</p>  <p>② 持株会社及び種類株式を活用した従業員持株会での株式集約</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者出資の持株会社による分散株式の買取と同時に、従業員所有株式については、「従業員持株会」を設立し、配当優先・無議決権株式（種類株式）とすることにより、次期後継者への経営権の集約を実現した

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	「NCB 空き家解体ローン」の取扱開始
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は、高齢化の進展で社会問題化している「空き家問題」解決に向けた取組みの一環として、平成 27 年 5 月 27 日（水）より「NCB 空き家解体ローン」の取扱いを開始した。 ・ 本商品は、家屋倒壊、火災、犯罪等、住環境に悪影響を及ぼす可能性があるとして社会問題となっている「空き家」を解体するための費用に利用可能なもの。地方創生の取組みの一環として、本商品の取扱開始により「空き家問題」に取り組む北九州市等、各自治体をサポートしていく。 ・ 商品のポイント <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方も対象 最高 74 歳のお客さままで申し込み可能なため、幅広いお客さまが利用可能。 毎月のお支払額を軽減可能 返済期間は最長 15 年間まで選択可能なため、毎月の返済負担を軽減することが可能。 収入確認資料不要 申込金額が 3 0 0 万円以内であれば収入確認資料の提出が不要。

銀行名	西日本シティ銀行								
タイトル	「アジア金融・経済フォーラム in FUKUOKA」の開催								
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジアの最新情報と九州とアジアの結びつきをさまざまな視点から登壇者に語っていただき、グローバルな経済成長を牽引するアジアの金融・経済の最先端の情報と、新たなビジネスへのヒントを幅広く地域の皆さまにお届けすることを目的に開催した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際金融・経済の第一線に携わってこられた国内外のキーパーソンをお招きし、「アジア金融・経済フォーラム in FUKUOKA」を開催した。 ・ 第一部では、アジア開発銀行総裁の中尾武彦氏に「アジア経済の現状と開発の課題」と題して、講演していただいた。 ・ 第二部では、韓国経済研究院長の権泰信（クォン・テシン）氏、そして元タイ王国財務・商業大臣のタノン・ビダヤ氏にそれぞれ講演していただいた。 ・ 第三部のパネルディスカッションでは、講演者と国際金融情報センター理事長の加藤隆俊氏が「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」などをテーマに討議を繰り広げた。 <p><フォーラムの概要></p> <table border="1" data-bbox="507 1122 1426 1532"> <tr> <td data-bbox="512 1128 727 1193">第一部 基調講演</td> <td data-bbox="732 1128 1422 1193">「アジア経済の現状と開発の課題」 Asian Economic Situation and Development Agenda 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1200 727 1265">第二部 講演1 （同時通訳）</td> <td data-bbox="732 1200 1422 1265">「韓国経済の現状と今後の見通し、そしてアジアにおける役割について」 The Present and Prospect of Korean Economy and Its Role in the Asia 権 泰信 氏（韓国経済研究院長）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1272 727 1337">第二部 講演2 （同時通訳）</td> <td data-bbox="732 1272 1422 1337">「アジアの金融情勢とアセアン経済共同体の将来」 Asian Finance and the Future of AEC タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1344 727 1525">第三部 パネルディスカッション （同時通訳）</td> <td data-bbox="732 1344 1422 1525">「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」 Role of Kyushu, Japan in the Global Asian Market パネリスト 加藤 隆俊 氏（公益財団法人国際金融情報センター理事長） 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁） 権 泰信 氏（韓国経済研究院長） タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣） モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行取締役会長）</td> </tr> </table> <p></p> <p></p> <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当日は約 500 名が参加され、アジアの金融・経済における最先端の情報を幅広く地域の皆さまに還元することが出来た。 	第一部 基調講演	「アジア経済の現状と開発の課題」 Asian Economic Situation and Development Agenda 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁）	第二部 講演1 （同時通訳）	「韓国経済の現状と今後の見通し、そしてアジアにおける役割について」 The Present and Prospect of Korean Economy and Its Role in the Asia 権 泰信 氏（韓国経済研究院長）	第二部 講演2 （同時通訳）	「アジアの金融情勢とアセアン経済共同体の将来」 Asian Finance and the Future of AEC タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣）	第三部 パネルディスカッション （同時通訳）	「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」 Role of Kyushu, Japan in the Global Asian Market パネリスト 加藤 隆俊 氏（公益財団法人国際金融情報センター理事長） 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁） 権 泰信 氏（韓国経済研究院長） タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣） モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行取締役会長）
第一部 基調講演	「アジア経済の現状と開発の課題」 Asian Economic Situation and Development Agenda 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁）								
第二部 講演1 （同時通訳）	「韓国経済の現状と今後の見通し、そしてアジアにおける役割について」 The Present and Prospect of Korean Economy and Its Role in the Asia 権 泰信 氏（韓国経済研究院長）								
第二部 講演2 （同時通訳）	「アジアの金融情勢とアセアン経済共同体の将来」 Asian Finance and the Future of AEC タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣）								
第三部 パネルディスカッション （同時通訳）	「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」 Role of Kyushu, Japan in the Global Asian Market パネリスト 加藤 隆俊 氏（公益財団法人国際金融情報センター理事長） 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁） 権 泰信 氏（韓国経済研究院長） タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣） モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行取締役会長）								

銀行名	西日本シティ銀行
-----	----------

タイトル	女性フォーラム「女性が輝く明日のために」の開催
------	-------------------------

取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、我が国では、総理主導のもと、“すべての女性が輝く社会”の実現に向けたさまざまな取組みが行われ、女性の活躍推進は社会にとって重要な課題となっている。そこで、女性が社会と関わることの大切さや飛躍のきっかけとなるヒントを考えていただくために、国連の国際女性デーに合わせ、平成 27 年 3 月 8 日に女性フォーラム「女性が輝く明日のために」を開催した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 部の基調講演では、海老井悦子福岡県副知事が男女共同参画社会の実現に向けての行政の取組みについて幅広く紹介していただいた。 ・ 第 2 部のパネルディスカッションでは、福岡にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍する女性 8 人をお迎えし、仕事への向き合い方、結婚、育児などについて語っていただいた。 <p><フォーラムの概要></p> <table border="1"> <tr> <td>第 1 部 基調講演</td> <td>「女性活躍 ～次なるステージへ～」 海老井 悦子 氏（福岡県副知事）</td> </tr> <tr> <td>第 2 部 パネルディスカッション</td> <td>「女性が輝く明日のために」 ～いま、伝えたいこと、贈りたいことば～ パネリスト（50 音順） 青木 麗子 氏（株式会社 DLC・GB コンサルティング 代表取締役） 加藤 暁子 氏（日本の次世代リーダー養成塾 理事・事務局長） 柴崎 博子 氏（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 福岡中央支店長） 高山 博子 氏（太宰府天満宮 神職） 西川 ともゑ 氏（福岡商工会議所 副会頭・女性会会長） 松岡 恭子 氏（建築家、株式会社スピングラス・アーキテツ 代表） 森口 博子 氏（歌手・タレント） コーディネーター 神田 紅 氏（講師）</td> </tr> </table>	第 1 部 基調講演	「女性活躍 ～次なるステージへ～」 海老井 悦子 氏（福岡県副知事）	第 2 部 パネルディスカッション	「女性が輝く明日のために」 ～いま、伝えたいこと、贈りたいことば～ パネリスト（50 音順） 青木 麗子 氏（株式会社 DLC・GB コンサルティング 代表取締役） 加藤 暁子 氏（日本の次世代リーダー養成塾 理事・事務局長） 柴崎 博子 氏（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 福岡中央支店長） 高山 博子 氏（太宰府天満宮 神職） 西川 ともゑ 氏（福岡商工会議所 副会頭・女性会会長） 松岡 恭子 氏（建築家、株式会社スピングラス・アーキテツ 代表） 森口 博子 氏（歌手・タレント） コーディネーター 神田 紅 氏（講師）
	第 1 部 基調講演	「女性活躍 ～次なるステージへ～」 海老井 悦子 氏（福岡県副知事）			
第 2 部 パネルディスカッション	「女性が輝く明日のために」 ～いま、伝えたいこと、贈りたいことば～ パネリスト（50 音順） 青木 麗子 氏（株式会社 DLC・GB コンサルティング 代表取締役） 加藤 暁子 氏（日本の次世代リーダー養成塾 理事・事務局長） 柴崎 博子 氏（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 福岡中央支店長） 高山 博子 氏（太宰府天満宮 神職） 西川 ともゑ 氏（福岡商工会議所 副会頭・女性会会長） 松岡 恭子 氏（建築家、株式会社スピングラス・アーキテツ 代表） 森口 博子 氏（歌手・タレント） コーディネーター 神田 紅 氏（講師）				
	<p style="text-align: right;">（平成 27 年 3 月 8 日当時）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【取組みの成果】</p> <p>当日は約 400 名が参加され、参加された 8～9 割の方から大変参考になったと評価を得た。</p>				

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	音楽祭「歓喜と喝采～音楽がつなぐ感動」の開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創立 10 周年を記念し、当行を支えていただいているお客さまとともに音楽芸術を通じて、地域を一層盛り上げることを目的として、平成 26 年 12 月 10 日に開催した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で活躍する地元出身の広渡勲氏に総監督を井崎正浩氏に指揮を務めていただいた。また、演奏は九州交響楽団、合唱は行員・市民で結成した 183 名の混声合唱団、その他、バレリーナやダンサー等の共演により開催した。 ・ 第 1 部では、「歓喜のステージ」として、九州交響楽団の演奏で、行員と市民による混声合唱団 183 名がベートーベンの交響曲第九番を合唱した。 ・ 第 2 部では、バレエやダンスなどで構成された「喝采のステージ」として、講師の神田紅氏の司会のもと、九州交響楽団の演奏に合わせ、バレリーナやダンサー、子どもたちによる、年末にふさわしいさまざまなパフォーマンスを行った。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱団員の一般募集定員（100 名）を大幅に超える応募（209 名）があり、鑑賞者公募も 400 名に対し 2,076 名の応募があった。 ・ 市民合唱団としてはレベルの高い合唱団が結成され、十分披露できる合唱演奏となったなど指導者や指揮者から評価を得た。 ・ 構成や演出等に様々な工夫を取り込んだことで、質の高い音楽祭となったなど指導者、オーケストラ首脳、ソリスト等から評価を得た。 